

学生・教職員の皆さんへ

今、私たちが直面している新型コロナウイルス感染症の第5波は、これまでの4つの波とはその規模が全く異なり、感染者数は連日、過去最高値を更新しています。デルタ変異株感染者の体内ウイルス量は桁違いに多く、体外に出るウイルス量も増えて、感染拡大が容易に起こります。変異自体は小さなものですが、振る舞いは別のウイルスと言えるほどです。

もはや3密が揃うと感染するという考え方は捨ててください、密閉・密集・密接のうちの1つだけでも感染する可能性が高まります。本学でも学生や教職員から罹患の報告がなされていますが、その間隔は次第に短くなってきています。

「感染しない」・「感染させない」ために、マスク着用の重要性を再認識する必要があります。マスクを着用せずに発話しがちな会食は、極めて危険性の高い行為です。発熱や風邪のような症状など、感染が疑われる場合には、登校・出勤を控え、速やかに身近な医療機関に電話相談して受診するとともに、感染検査を受検した場合は、その結果を本学の保健管理センターへ報告してください。

みなさんの教育研究の場であり、職場でもある大学の活動を、損なうことなく継続していくためには、自らと周囲の人々を守ることを一人一人が意識し、行動することが必要になっています。小さな注意と気配りを日々、一緒に積み重ねていきましょう。

令和3年8月30日
奈良先端科学技術大学院大学長
塩崎一裕